

えひめ南予 きずな博

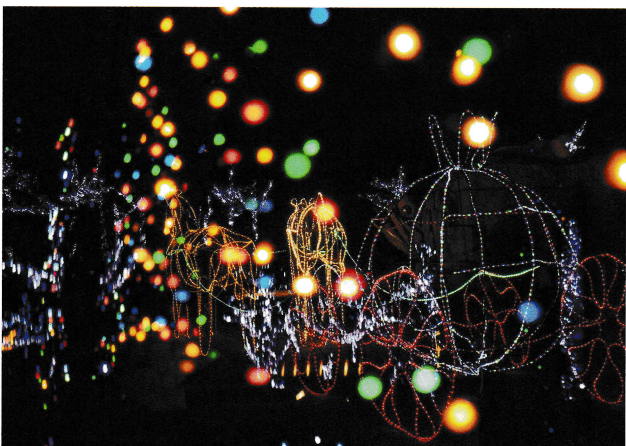
結ばれた多くの絆を
私たちの手で育てていく

「きずなツリー（もみの木）」の植樹
特に被害の大きかった本市と大洲市、
西予市で未来へ向けたクリスマスツ
リーが植えられ、本市では12月8日
に小・中・高校生2人ずつが協力して
中山池自然公園に1本の木を植えま
した。



6人で協力してしっかり植えました

本市でオープニングイベントを
開催したえひめ南予きずな博は、
さまざまな体験プログラムやシン
ボルイベントなどを通じて多くの
新しい絆が深く結ばれ、その幕を
閉じました。フィナーレには、こ
のイベントの成果を継承して南予
地域の創造的復興と持続可能な観
光振興を未来へ繋げるためのク
ロージングイベント「南予光の回
廊（きずなシンポジウム）」と
「Twinkle Night」が
行われました。



25日には花火による演出も実施しました

シヨンが照らしました。
これに合わせ、えひめ南予きず
な博の記念として学生たちがもみ
の木を植樹しました。クリスマス
の飾りつけやイルミネーションで
装飾されたツリーは、これからの
成長を願う子どもたちの元気な掛
け声で、明るく色鮮やかな光を灯
していました。

植樹に参加した子どもたちは
「自分の手で木を植えるという貴
重な体験を楽しみながらできた。
きずな博で生まれた新しい絆をこ
の木の成長を見守ると共に育ん
でいきたい」と笑顔で話してくれ
ました。